

# 国庫補助増額こそ大事

## 国保税滞納問題で厚生常任委員会 (平良木議員が所属)が所管事務調査

2月25日には、厚生常任委員会の所管事務調査が行われ、国民健康保険税の滞納問題が審議されました。

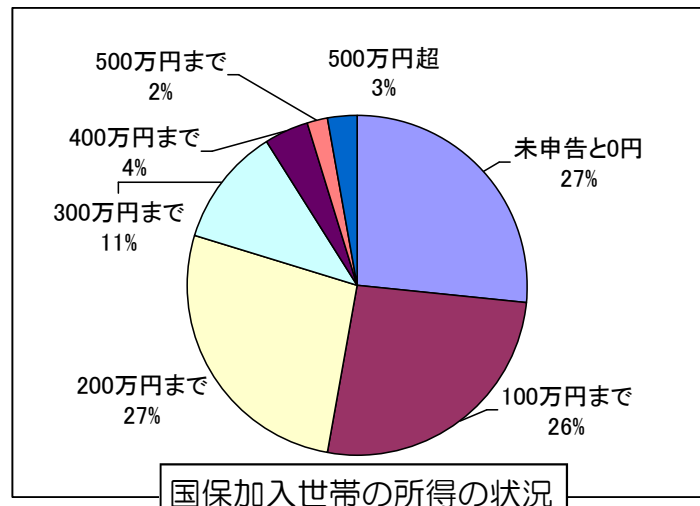
説明では、国保加入者は低所得者(年収200万円未満)が大半を占めること、国保税の収納率がここ数年低下してきており、平成20年度では92.63%となっていることが報告されました。同時に、これは県平均よりも若干高く、新潟県の平均収納率も全国4位と高いものであることから、国保税の収納率低下は国保税度全般の課題で

あることが指摘されました。

また、行政当局として、前年度所得をもとに課税することや、被用者保険脱退による加入は本人の届け出にかかっていることなど、制度自体が課題を持っているという認識があることが明らかになりました。なお、国保加入世帯の所得の状況は図の通りです。

審議に加わった平良木議員は、「収納率低下は、国保税そのものが高いため、払いたくても払えない状況であることが大きな原因。国庫補助が減らされてきたこと、他の保険制度に比べて負担率が大きいことが、国保税を押し上げている。これらの解決とあわせ、所得に比例した応能負担分を中心にするなど、改善が必要だ。また、市としても一般財源からの繰り入れを思い切っすべきだ」と指摘しました。

市当局は、「引き続き国に向けて国庫補助の拡充と制度改善を要望していく。一般会計からは、22年度も2億円繰り入れる」と答えました。



### 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 223 2010年3月7日

連絡先 橋爪 法一 548-3628 (吉川区代石)  
樋口 良子 544-6802 (中門前3)  
上野 公悦 530-2203 (頸城区中柳町)  
平良木 哲也 525-9096 (上中田)



「よしかわ杜氏の郷」の酒蔵(工場)にて

心を持った観光酒蔵という施設で、来客は酒造りの工程が見えるようになっています。大きな工

が一生懸命に業務改善に取り組んでいる姿が伝わってきて、好感を持つことができました。初めて酒蔵の中に入って見学してもらいました。昔と違って、もろみタンクはステンレス製ですが、中をのぞくと「ブクブク」と醗酵している様子がわかりました。

### 学校給食甲子園優勝の春日新田小学校

### 心のもったおいしい手づくり給食

民間委託校でも、調理員さんたちは一生懸命に「安全・安心・おいしい給食づくり」に取り組んでいます。しかし、学校給食は、民間委託や派遣ではなく、直営・自校調理、しかも単独校での食材購入方式こそ、地元農家との連携や栄養士さんの適切な指示などがあってこそ大きな成果を期待できるのではなうか。



# 地域が生み育てる酒蔵として

## 文教経済常任委員会(上野議員が所属)がよしかわ杜氏の郷などを管内視察

2月23日午前10時から一日かけて議会文教経済常任委員会の管内視察を行いました。10時半に名立区の「うみてらす名立」の「あわび養殖の研究業務の状況・設備機能など」について、11時40分から直江津駅前に改築整備中の「直江津図書館・社会教育館の整備状況」について、午後からは「春日新田小学校の学校給食への取り組み」、その後吉川区にある「よしかわ杜氏の郷」の現況調査を行いました。これらはいずれも昨年の文教経済常任委員会での大きな議論や注目の事案でした。



店内で商品説明

夫や動線が設定されているが、せつかくの酒蔵内が見える工夫があっても、実際の作業の動きが見えず、もったいない感じがしました。しかし、スタッフ一同

民間委託校でも、調理員さんたちは一生懸命に「安全・安心・おいしい給食づくり」に取り組んでいます。しかし、学校給食は、民間委託や派遣ではなく、直営・自校調理、しかも単独校での食材購入方式こそ、地元農家との連携や栄養士さんの適切な指示などがあってこそ大きな成果を期待できるのではなうか。

この春日新田小学校は昨年11月8日に開かれた「第四回全国学校給食甲子園」で優勝しました。栄養士さんのもとに3人の正規調理職員さんと4人のパート調理員さんが協力しながら、安全・安心・美味しい手づくりの給食を子どもたちに提供しています。1日平均915食作っているとのこと。説明にあたった栄養士さんは、学校給食が「教育の一環としての食育」であることを強調しました。綿密な作業工程表、作業の流れもきちんと示されていて、栄養士さんと調理員さんとのがっちりとした協力関係のもとに給食が作られています。

いう厚手のトーストには、バター、砂糖、粉末アーモンド、スライスアーモンドが一枚一枚に丁寧にならねられ、オーブンで焼き上げられたとのこと。大変美味しいと評判でした。